

衝撃吸収性



転倒時の衝撃を吸収し、重大なケガを軽減する床材

学校や幼稚園、老人ホーム、病院などの施設では、滑りやつまずきなどの原因で人が転倒し、思わぬ事故につながる場合があります。衝撃や衝突によるエネルギーを分散・吸収する機能を床に持たせることで、転倒時のケガを軽減し、歩きやすさも付加することができます。また誤って物を落とした場合も、破損を最小限にとどめます。

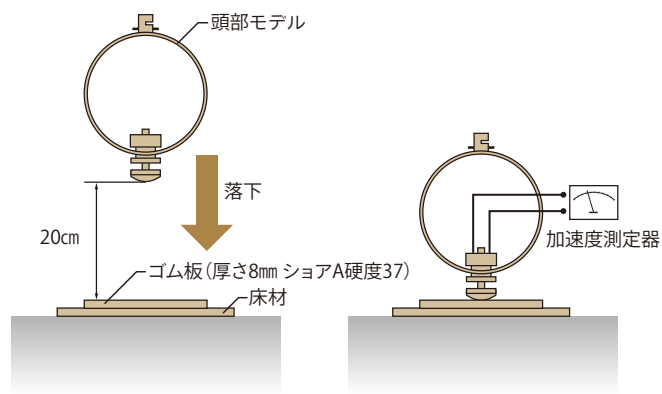
衝撃吸収性の評価

試験方法

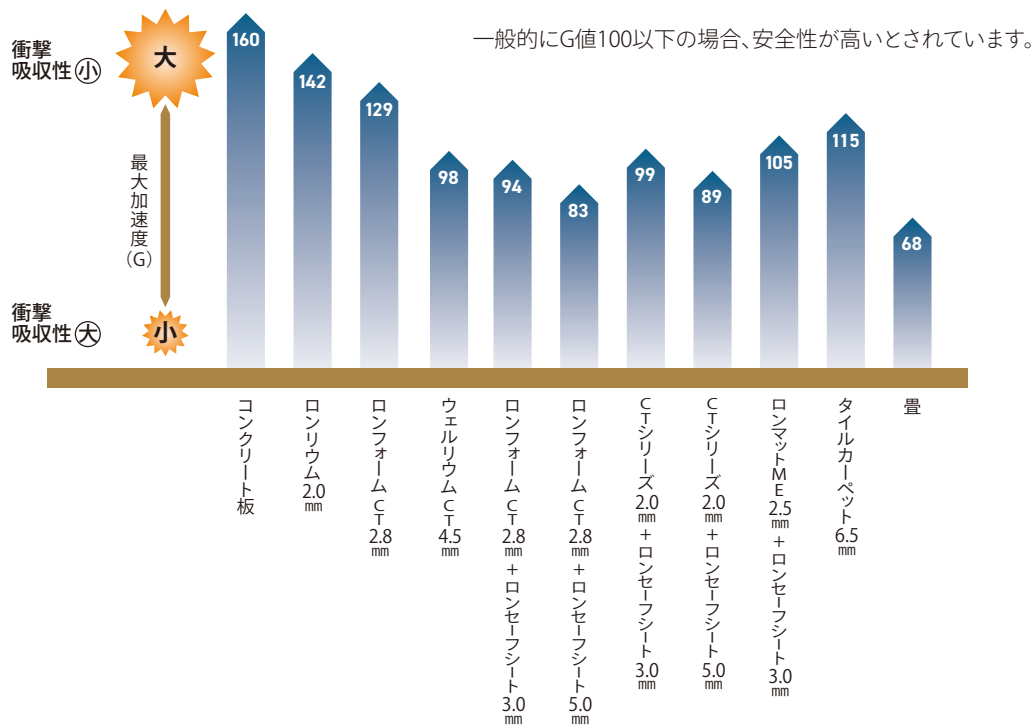
JIS A 6519

「体育館用鋼製下地構成材」床の硬さ試験に準拠

高さ20cmから頭部モデル(質量3.85kg)を落下させ、床に衝突した時の最大加速度を測定。硬い床は、衝撃を吸収しないため、衝撃がそのままはね返り、最大加速度が大きくなります。最大加速度の値が小さいほど、床が衝撃を吸収し、障害事故のリスクが低下します。



試験結果



※社内試験データ。規格値ではありません。

床材機能説明
衝撃吸収性

床衝撃音遮断性・発音防止性



階上の足音や小さな物の落下音を低減する床材

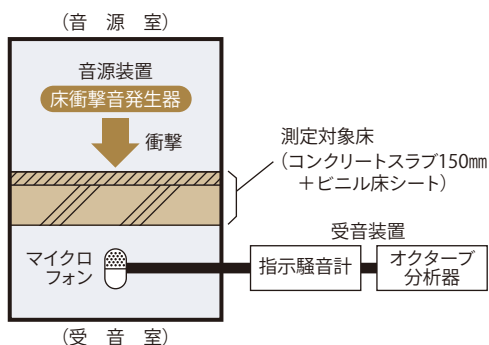
快適な居住空間に欠かせないのが「音」に関する問題です。集合住宅などで、階上が階下に及ぼす音「床衝撃音」を抑える床材へのニーズが高まっています。床衝撃音には、歩行の際の足音やスプーンなどを落とした場合に発生する「軽量床衝撃音(LL値)」と、子供が飛び跳ねたりした場合に発生する「重量床衝撃音(LH値)」の2種類があります。重量床衝撃音は、床構造による改善が必要ですが、「軽量床衝撃音(LL値)」は発泡層付ビニル床シートを用いることで軽減が可能になります。

軽量床衝撃音遮断性の評価

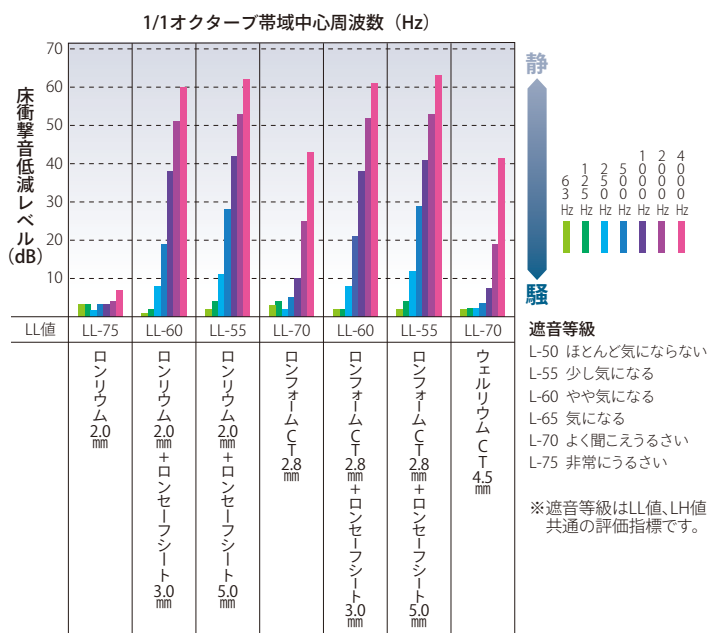
試験方法

JIS A 1440-1「実験室におけるコンクリート床上の床仕上げ構造の床衝撃音レベル低減量の測定方法-第1部：標準軽量衝撃源による方法」に準拠

タッピングマシンで軽量床衝撃音を発生させ、階下でレベルを測定します。



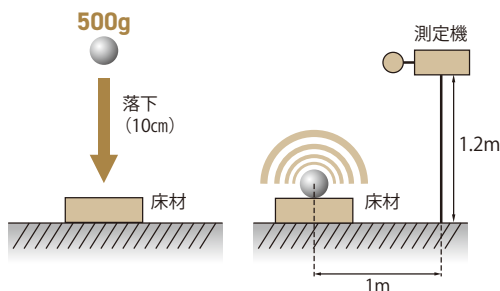
試験結果



発音防止性の評価

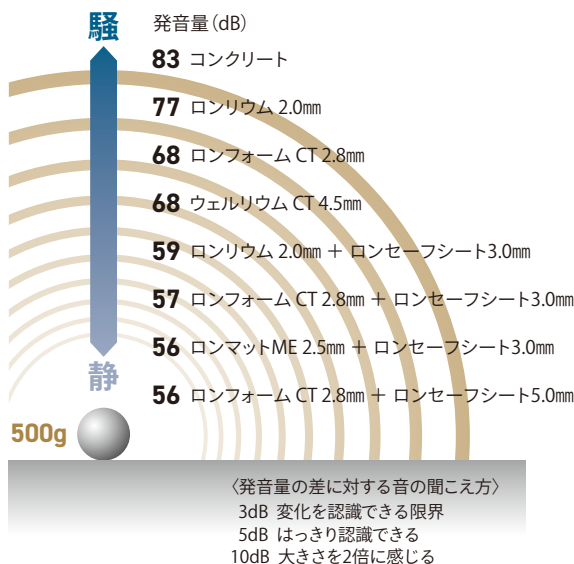
試験方法

コンクリートの上に床材を置き、500gの鉄球を10cmの高さから落下させて発生する音を測定します。



試験結果

※社内試験データ。規格値ではありません。



床材機能説明
 床衝撃音遮断性・発音防止性